Yamaguchi Meiji Restoration - historical building Map

山口明治維新歴史的建造物マップ

01 木戸神社 必見

木戸孝允は亡くなる前に自邸と山林を子弟の学資にと村民に与えました。これに感謝した地区の人々により邸宅跡に建立された神社です。

02 普門寺 必見

湧の峯の麓に建つお寺。江戸末期、この寺の観音堂で、大村益次郎は幕府軍を迎え撃つため長州藩士に西洋式軍隊の士官養成をしていました。

03 旧山口藩庁門 必見 県指定有形文化財

長州藩主毛利敬親は、幕末の有事に備え現山口県庁の地に政事堂建設を着工。この門は政事堂の門として建造され、山口藩庁門として使用していたものです。

04 洞春寺 必見 国指定重要文化財(山門・観音堂)

明治政府の参与、外務、大蔵などの大臣を歴任し、実業界にも尽力した、井上馨の墓があります。東京麻布の長谷寺にある墓の分骨を葬った分け墓です。

05 香山墓所 必見 国指定史跡

毛利本家の墓所で、幕末から明治初年にかけての藩主、毛利敬親が居城を萩から山口に移して以降の墓地として使用するために造成されたもの。敬親もここに眠っています。

06 枕流亭 必見

一の坂川の安部橋近くにあった、山口の旧家・安部家の離れ。西郷隆盛、大久保利通らが訪れ、木戸孝允らと薩長連合の密議が行なわれていたと伝えられています。

07 露山堂 必見

毛利敬親が藩庁を山口に移した際、現県庁内の一露山の麓に建てられた茶室。敬親が茶事にことよせ、家来らと討幕の密議をこらした建物です。明治24年現在地に移築。

08 錦の御旗製作所跡

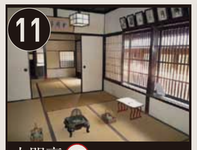
鳥羽伏見の戦いで薩長軍の陣頭に立てられた錦の御旗を製作したといわれる場所です。当時この一の坂川河畔に養蚕所があり、その2階で製作されたといわれています。

09 豊栄神社

毛利氏の祖、元就を祭神とする神社。萩城内にあったものを、明治2年(1869)に山口に移したものです。この年、朝廷より元就の神霊に豊栄の神号を賜りました。

10 野田神社 必見

毛利敬親の諡号より忠正神社と称したのに始まる神社。その後鎮座地名からとった現在の野田神社に改称し、明治19年(1886)に現在地に遷座しました。



11 十朋亭 必見

代々醤油製造を業とする萬代家の離れ。萬代家は藩の役人たちの宿泊所となり、桂小五郎、高杉晋作、久坂玄瑞ら、多くの維新の志士の来客があったと伝えられています。

10:00 ～ 17:00　火曜休館

12 法界寺

吉田松陰とともに勤王運動に尽くした中谷正亮の墓がある寺。正亮は松陰の死後、松下村塾を主となって運営した人物。東京世田谷の松陰神社にある墓の分け墓です。

13 山口明倫館兵学寮跡

藩士上田凱陽は時代の進展を見て、後の山口明倫館となる山口講堂を創立しました。この地には歩兵・騎馬・砲兵の三兵塾からなる兵学寮がありました。

14 来島又兵衛の碑

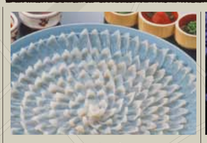
高杉晋作が奇兵隊を創設すると、又兵衛は遊撃隊を組織し互いに連携して国事にあたりました。亀山にあるこの碑は毛利元昭筆額、井上馨撰文、野村素介書。

15 亀山公園

明治33年(1900)亀山の頂上を公園化し、毛利敬親らの銅像6基が建てられました。銅像は太平洋戦争中に金属回収のため供出。現在の敬親像は戦後再建されたものです。

Yuda-spa［湯田温泉宿泊特典］

湯田温泉宿泊者限定



湯田温泉ふくまつり

2014年4.6(日)まで

御夕食に一品以上のふく料理が含まれます。※旅館・ホテルにより料理内容が異なります。

宿泊旅館・ホテル以外の宿の温泉に入浴できる温泉入浴券をプレゼント！

詳しくは 湯田温泉 検索
http://www.yudaonsen.com/
湯田温泉旅館協同組合
TEL 083-920-3000
(9:00～16:00 休／土日祝)

さくらバス運行

3.28(金)・3.29(土)
4.4(金)・4.5(土)

対象／湯田温泉に宿泊される方
料金／大人500円
小中高生200円
幼児無料
申込／宿泊予約時～当日
18時30分までに湯田温泉の宿泊フロントへ
※先着40名様 定員になり次第締切。
乗車／湯田温泉バス乗り場③
20時15分発

ライトアップで浮かび上がる一の坂川の夜桜や国宝瑠璃光寺五重塔の幻想的な世界をお楽しみください

イベント

湯田温泉白狐まつり
4.5(土)・6(日)　会場／湯田温泉

18 七卿の碑（井上公園）

文久3年(1863)の政変により、御所への出入りを禁じられた七卿は、長州に落ちのびました。大正15年(1926)七卿落ち60年を記念してこの碑が建てられました。

19 周布政之助の碑（周布公園）

政之助は毛利藩の重臣。幕府の長州征伐にあたり藩内の紛争を防ぐため尽力しました。元治元年(1864)、蛤御門の変の責任をとって自刃。自刃した場所の近くに建つ功績を讃える碑。